

ブレンデッドラーニングを導入した保育者養成向けピアノ実技指導（その2）

京都女子大学 深見友紀子

学生一人あたりのピアノ実技レッスン時間の不足は、保育者および小学校教員養成機関が共通に抱える問題であるが、とりわけ授業時数が少ない京都女子大学児童学科では、保育者として必要なピアノ実技能力を学習経験が乏しい学生が在学中に習得するのは非常に難しい状況となっている。

そこで、筆者は、リアルタイム（同期）の教室での指導と e ラーニングコンテンツなどの非対面（非同期）指導を組み合わせることによって学生の実技能力の改善を図り、少ない授業時数を補完する仕組みづくりを2006年度より始めることにした。（共同研究者：長岡技術科学大学、中平勝子氏、平成18・19年度科学研究費補助金基盤研究C）

本研究は、ブレンデッドラーニングをピアノ実技レッスンに導入している点に特色があり、対面指導の改善に終始していた従来の取り組みとは一線を画している。また、フェース・ツー・フェースで伝承されてきたピアノ実技に対するICTの可能性を示唆することも目標としている。

昨年度（その1）の本学会で発表した実践内容は以下のとおりである。

1. 学生によるピアノ弾き歌い演奏映像の提出

2カ年にわたって学生約200名にピアノ弾き歌いを録画・提出させた。提出回数と実技試験の得点には正の相関があり、演奏映像の提出は実技能力の向上に有効であると結論づけることができた。（2006年6～7月、2007年6～7月）

2. ピアノ弾き歌いeラーニングコンテンツの制作

子どもの歌の代表曲7曲について、ピアノ弾き歌い模範演奏映像と注釈付き楽譜を作成し、2007年6月、京都女子大学のウェブクラスにて配信を開始。

3. ピアノ弾き歌い模範演奏の効果の検討

2. の模範演奏を視聴することで演奏時のイメージトレーニングが円滑に行われるのではないかと、という仮説を、視聴後の実技試験の得点から導き出し

た。（2007年6～7月）

その後実施したこと、現在進行中のことを次に示す。今回の口頭発表は4. 5. を中心に行う予定である。

4. 声楽eラーニングコンテンツの制作

声楽模範演奏、発声、歌唱に関する解説映像を追加制作するとともに、学内のウェブクラスのみでの配信からインターネット配信 (<http://oberon.nagaokaut.ac.jp/kwu/piano/>) に切り替えた。（2008年6月～）

5. eラーニングコンテンツの効果の測定

2. 4. のコンテンツ視聴前後の学生約100名の演奏を比較し、併せて視聴状況分析を行うことによって、eラーニングコンテンツの効果測定する。（2008年6～7月）

6. 非対面（非同期）レッスンの効果の分析

学生の演奏映像に対して遠隔のアドバイザーが分析（コメントと模範演奏）を行い、学生はその結果を閲覧した後、演奏映像を再提出するという試みを実施。この実践を通じて、非対面（非同期）による“遠隔レッスン”の実効性、対面（同期）レッスンとのブレンデッドの方向性を示す。（2007年6月～）

深見友紀子、中平勝子「ピアノ弾き歌い実技指導における練習映像提出併用の効果」京都女子大学発達教育学部紀要 第4号 pp.19-27(2008)

Katsuko T. Nakahira, Yukiko Fukami, Miki Akahane “Combining Music Practicing with the Submission of Self-made Videos for Pre-School Teacher Education” 5th International Conference on Computers in Education, pp.573~576 (2007)

中平勝子、深見友紀子、赤羽美希「保育系教育機関における模範映像提示・練習映像提出を併用した実技指導の実践」第23回日本教育工学会全国大会講演論文集 pp.273-274(2007)